

平成25年度 第5回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年7月17日（水）14時30分～17時35分

場 所 情報学部大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、杉山、東郷、中野、鈴木、
今野、寺村、平岡、梅澤、國宗、菅野、西原、酒井、藤井、増田、
青山、塩尻、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、渡邊、
田中、三村、朴、高松の各評議員

欠席者 木村評議員

陪席者 大戸、徳山の各監事
中村、佐藤の各学長補佐
山本保健センター所長

I 議事録の承認について

平成25年度第4回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学学位規程の一部改正について

石井委員から、学位規則の一部を改正する省令が平成25年4月1日から施行されたことに伴う、静岡大学学位規程の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、論文公表及び公表に伴う知的財産、著作権の取扱いについて、今後、附属図書館及びイノベーション社会連携推進機構研究推進支援部門に協力を願う旨の発言があった。

2 静岡大学国際交流センター規則の一部改正及び静岡大学国際交流センター日本研修・交流プログラムに関する規程の制定について

鈴木委員から、国際交流センターにおいて日本文化研修を行うため、「日本研修・交流プログラム」を開設することに伴う、静岡大学国際交流センター規則の一部改正及び静岡大学国際交流センター日本研修・交流プログラムに関する規程の制定について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、数週間程度の日本語研修・交流プログラムについては、今後、同センターにおいて検討することとした。

3 静岡大学大学院入試情報公開規程の一部改正について

石井委員から、自然科学系教育部を情報開示の申請対象とし、現在、実施されていない法務研究科の法学既修者認定試験を申請対象から除くための静岡大学大学院入試情報公開規程の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学大学院入試情報公開規程実施細則の一部改正について

石井委員から、不合格者の得点ランクと併せ総合点を開示すること及び自然科学系教育部及び情報学研究科修士課程社会人リフレッシュ教育入試を開示対象とすることに伴う、静岡大学大学院入試情報公開規程実施細則の一部改正について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 国立大学法人静岡大学研究費等管理規則及び静岡大学研究費等不正調査取扱細則の一部改正について

前田委員から、静岡大学公益通報に関する規則の一部改正（平成25年6月12日教育研究評議会承認）に伴う文言の整理並びに委員会委員の構成を改めるための、国立大学法人静岡大学研究費等管理規則及び静岡大学研究費等不正調査取扱細則の一部改正について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 静岡大学教育研究用エックス線装置等エックス線障害防止規則の一部改正について

碓氷委員から、エックス線障害防止委員会にグリーン科学技術研究所から、同委員会に委員を選出することに伴う、静岡大学教育研究用エックス線装置等エックス線障害防止規則の一部改正について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 キャンパスミュージアム運営委員会規則の一部改正について

碓氷委員から、高柳記念未来技術創造館の専任教員が不在であることに伴い、委員会の組織を見直すための、キャンパスミュージアム運営委員会規則の一部改正について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 電子工学研究所の共同利用・共同研究拠点認定に伴う関係諸規則の一部改正及び制定について

三村委員から、文部科学省から共同利用・共同研究拠点の認定を受けたことに伴う、「静岡大学電子工学研究所規則」の一部改正、「静岡大学電子工学研究所運営委員会規則」、「静岡大学電子工学研究所共同利用・共同研究委員会規則」の制定について、資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 共通経費による電子ジャーナルについて

高松委員から、電子ジャーナル等の価格高騰による現状の維持が財政面から困難な状況にあることから、今後の対応を検討する「拡大電子リソース検討ワーキンググループ」の設置について、資料9により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、当該ワーキンググループ委員については、附属図書館委

員会に委員が参画していない部局においても、委員の選出を依頼するとの発言があった。

10 島田信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について

議長から、島田信用金庫との産学連携に関する業務協力覚書の締結について、資料10により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

11 教員の休職について

今野委員から、病気休暇中の人文社会科学部教授の状況説明の後、増田委員から、病気休職中の理学研究科准教授の状況について説明があり、いずれも今後の療養結果次第で病気休職を要することについて説明があり、それぞれ病気休職となった場合には、9月の本会議において報告することを承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第4回企画戦略会議（H25.7.3）について、資料11により報告があった。

2 経営協議会報告

議長から、第3回経営協議会（メール審議）について、資料12により報告があった。

3 平成24年度決算について

前田委員から、平成24年度決算について、資料13により報告があった。

4 第二期若手重点研究候補者の選定について

碓氷委員から、平成25年度の若手重点研究候補者の選定の経緯と方針について、資料14により報告があった。

なお、議長から、本研究者については、第二期中期計画中に静岡大学教員特別研修等を活用し、国外での経験を積めるよう各部局における配慮について依頼があった。

また、同委員から近々開催される科研費の説明について、特に若手研究者への出席について周知要請があった。

5 （仮称）はままつ光研究拠点の構築について

議長から、「地域資源等を活用した産学連携による国際イノベーション拠点整備事業」に本拠点が採択されたことから、今後の拠点の構築並びに運営は電子工学研究所を中心に取り組むことについて、資料15により報告があった。

- 6 静岡県立大学との学術情報ネットワークの運用に関する協定の廃止について
碓氷委員から、平成15年1月23日に締結された標記協定は、平成23年4月1日に、学術情報ネットワークの接続拠点が変更されたことに伴い廃止としたことについて、資料16により報告があった。
- 7 ユーコープとの覚書について
議長から、本学と生活協同組合ユーコープとの連携講座に関する覚書を締結したことについて、資料17により報告があった。
- 8 マサリク大学（チェコ共和国）との大学間交流協定（更新）の締結について
鈴木委員から、標記協定の更新について、資料18により報告があった。
- 9 大学院工学研究科とマドリッド工科大学光電子マイクロ研究所及び集積システム研究所（スペイン国）との部局間交流協定の締結について
鈴木委員から、標記部局間交流協定の締結について、資料19により報告があった。
- 10 理工系教員の修士所属等に伴う一括改正した規則等の修正について
総務課長から、平成25年3月19日開催の本会議において承認された規則改正のうち、一部の規則等の号ずれ及び文言の不揃い等を解消するための規則等の修正について、資料20により報告があった。
- 11 静岡大学カリキュラム・ポリシー（学部）について
石井委員から、平成24年12月19日開催の本会議において承認された、静岡大学カリキュラム・ポリシーの、理学部の表記中「理系基礎科目」を「理系専門科目」に修正を行ったことについて、資料21により報告があった。
- 12 教育学部附属特別支援学校40周年記念事業について
梅澤委員から、附属特別支援学校40周年記念事業について、資料22により報告があった。
なお、同委員から附属特別支援学校と名称が変更されていることから、40周年を機に校章を変更する旨の発言があった。
- 13 教職課程認定大学実地視察について
石井委員から、平成25年7月2日に実施された標記実地視察について、資料23により視察委員から概ね良好との講評を得た旨の報告があり、併せて関係部局等の協力に対し、謝辞があった。

14 教員採用等報告について

議長から、情報学研究科1名の教員の採用について、資料24により報告があった。

15 その他

議長から、戦略的環境リーダー育成事業の特任教員の任期が切れることによる、同特任教員の今後の処遇について、増田理学研究科長、永津創造科学技術大学院長、中村学長補佐及び鈴木款特任教員と打合せの結果、同事業の重要性を鑑み、学長裁量経費を理学研究科に配分し、定年までの雇用が可能となるよう判断した旨の報告があった。

なお、理学研究科及び創造科学技術大学院において厳正に審査を行うよう要請している旨の発言があった。

IV その他

1 外国人教員採用加速システム実施要項及び外国人教員採用加速システムの実施に関するガイドラインの制定について

石井委員から、現在、役員会で議論中である、外国人教員採用加速システムについて、資料25により案内があった。

なお、同委員から、静岡大学教員の任期に関する規則に則った採用も可能である旨の発言があった。

また、同委員からこの制度は、外国人教員の採用が進まない部局等に支援を行うことが趣旨である旨の発言が併せてあった。

(意見交換で出された主な意見)

- 今後、日本人であっても英語の授業ができる者に対象を広げていく必要があるのではないか。
- 任期を付さず採用することには、抵抗がある。
- 外国人教員採用の数値目標の上で、当該教員が、外国籍であることが重要である。
- 電子工学研究所や創造科学技術大学院において、当該教員の採用については、サブコア教員等として各研究科所属として採用する可能性が高く、各研究科の意向が強く反映されることが想定され、研究所は積極的な対応が難しい。

2 2013年度静岡大学夏期FD講演会について

佐藤委員から、2013年度静岡大学夏期FD講演会について、資料26により案内があった。

3 熱中症への対応について

石井委員及び梅澤委員から、7月11日に附属浜松中学校で発生した熱中症事故について報告があり、議長から、資料27により全学的に再発防止に向

けた注意喚起があった。

4 国立大学改革強化推進事業への対応について

浅利委員から、7月4日の大学改革に関する法人支援課との意見交換について、本学の改革案示し、グランドデザインが必要であること、すべての学部が並行的に改革を示すこと等の指摘を受けた旨の報告があった。

なお、議長から、グランドデザインを描く上で、各部局からの改革案が必要であることの協力要請があった。

以 上